



# 高田松原津波復興祈念公園

## 国営追悼・祈念施設



### 所在地

〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町字土手影180番地  
TEL.0192-22-8911(代)

### ご案内

- 開園時間 / 4月1日～9月30日 午前9時～午後6時  
10月1日～3月31日 午前9時～午後5時
- 休園日 / 年中無休
- 入園料 / 無料
- 駐車場 / 普通車…224台  
大型車…33台  
優先スペース…4台
- トイレ / 24時間利用可  
多目的トイレ…7箇所  
授乳室…1箇所  
オムツ交換台、チャイルドシート  
オストメイト
- AED / 2箇所

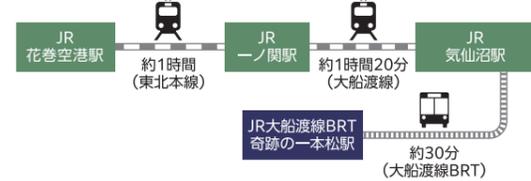


### 交通アクセス

#### <JR東日本>



#### <飛行場>



#### <自動車>

- 盛岡** 東北自動車道～釜石自動車道【宮守IC】～国道107号～国道340号 (約1時間40分)
- 釜石** 三陸自動車道【通岡IC】～国道45号経由 (約40分)
- 一ノ関** 国道284号～気仙沼～三陸自動車道【陸前高田長部IC】～国道45号 (約1時間20分)
- 仙台** 仙台東部道路～三陸自動車道【陸前高田長部IC】～国道45号経由 (約2時間10分)

※上記交通手段の所要時間などはおよその目安時間です。  
ご利用の際は、最新の時刻表等をご確認のうえお出かけください。

高田松原津波復興祈念公園

お問い合わせ先

### 高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設

〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町字土手影180番地 TEL.0192-22-8911 FAX.0192-22-8913  
<https://takatamatsubara-park.com/>



発行

### 国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所

〒989-1505 宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9 TEL.0224-84-6211 FAX.0224-84-6214  
<https://www.thr.mlit.go.jp/m-park/>

# 基本理念

奇跡の一本松が残ったこの場所で 犠牲者への追悼と鎮魂の思いとともに  
震災の教訓とそこからの復興の姿を 高田松原の再生と重ね合わせ未来に伝えていく

## 東日本大震災からの復興の象徴となる国営追悼・祈念施設（仮称）の設置について

（平成26年[2014年]10月31日閣議決定）  
（平成29年[2017年]9月1日一部変更）

東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、国は地方公共団体との連携の下、岩手県陸前高田市、宮城県石巻市及び福島県双葉郡浪江町の一部の区域に、国営追悼・祈念施設（仮称）を設置する。

### 復興への経緯

- 平成23年3月11日 東日本大震災発生
- 平成23年8月 岩手県の復興計画に「メモリアル公園等整備事業」を位置づけ
- 平成23年12月 陸前高田市の復興計画に「防災メモリアル公園ゾーン」を位置づけ
- 平成24年3月 国土交通省が「震災復興祈念公園の基本的あり方」を整理
- 平成24年5月～平成24年6月 「国営防災メモリアル公園を陸前高田市に誘致する会」が関係省庁に要請書・署名を提出
- 平成24年7月～平成25年3月 高田松原地区震災復興祈念公園構想会議  
公園のあり方に関する提言の公表（平成25年3月）
- 平成25年9月～平成26年6月 岩手県における復興祈念公園基本構想検討調査有識者委員会  
基本構想の策定（平成26年6月）
- 平成26年7月～平成27年8月 岩手県における復興祈念公園基本計画検討調査有識者委員会  
基本計画の策定（平成27年8月）
- 平成26年10月31日 「東日本大震災からの復興の象徴となる国営追悼・祈念施設（仮称）の設置について」閣議決定
- 平成29年3月5日 起工式
- 令和元年9月22日 高田松原国営追悼・祈念施設 東日本大震災津波伝承館オープン式典（一部利用開始）
- 令和3年4月1日 高田松原津波復興祈念公園供用開始
- 令和4年6月3日 高田松原津波復興祈念公園整備事業完了式
- 令和5年6月4日 第73回全国植樹祭いわて2023開催



【2010年3月撮影】 提供：一般社団法人東北地域づくり協会



【2011年3月28日撮影】 提供：一般社団法人東北地域づくり協会

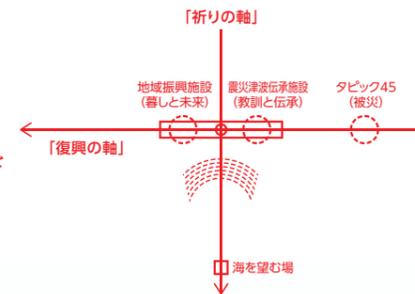
### 国営追悼・祈念施設設計画概要

#### 国営追悼・祈念施設 ＜空間デザインコンセプト＞

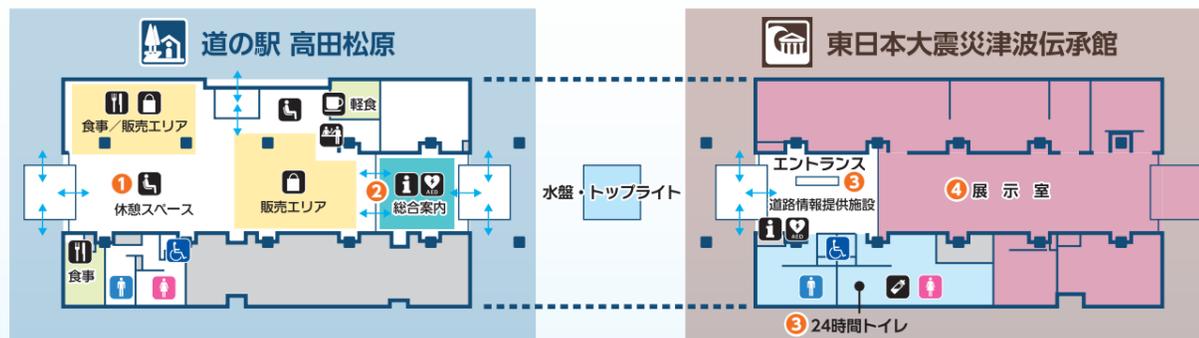
広田湾から津波がさかのぼった気仙川へと至る「祈りの軸」を中心に、7万本の松のうち1本だけ残った「奇跡の一本松」、復旧した重点道の駅「高田松原」、震災遺構「タビック45」、海岸防潮堤等と一体となった空間です。

「復興の軸」  
震災遺構は 災害を  
震災津波伝承施設は 教訓と伝承を  
地域振興施設は 明日を生きる暮らしを

「祈りの軸」  
今次の災害の憶いを 未来に伝える。



### 道の駅 高田松原・東日本大震災津波伝承館 フロアガイド



休憩スペース



総合案内



エントランス・24時間トイレ



展示室（被災した消防車両）

# 公園マップ

**<大屋根のファサード>**  
祈りと鎮魂の意味合いを込めて、白い一本のラインとして清澄な美しさを得るようデザインされ、ホワイトコンクリートのパネルには間接照明が配置され、あいた穴の数は東日本大震災の被災者の数を表現しており、夜間には\*18,434の燈が灯ります。  
※2018年3月11日時点の警察庁発表資料による

**<トップライトと水景施設>**  
復興の軸と祈りの軸の交わりには光を取り入れるトップライトと水盤があり、国営追悼・祈念施設を訪れた人々の気持ちを静めるための場となっています。

**凡例**  
国営追悼・祈念施設区域  
奇跡の一本松へのルート

**祈りの軸**  
津波の襲来した広田湾方向と、津波が遡上した気仙川上流方向を結ぶ象徴的な軸線を示します。

**追悼の広場**

**復興の軸**  
震災の脅威を伝えるタビック45、県の津波伝承館、市の地域振興施設をつないだライン

**<奇跡の一本松>**  
高田松原7万本のうち唯一生き残った復興のシンボル。震災後枯死しましたが、陸前高田市が寄付金により現状の形で再整備しました。

**<海を望む場>**  
祈りの軸の終点として、津波が押し寄せた広田湾や再生していく名勝高田松原、高田の市街地や郷土の山々を広く望むことができる場です。

**<献花の場>**  
祈りの軸と、奇跡の一本松～タビック45を結ぶ線の交点に位置し、海に向かって開けた空間の中で来訪者が花を手向ける場です。